

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳腺・内分泌外科 (臨) Dose-dense PTX療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2016年8月5日	
疾患名	乳癌		☐ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☒ 他施設自主研究 ☐ 市販後臨床研究 ☐ 治験	☐ 進行・再発化学療法 ☐ 術後化学療法 ☒ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	1クール期間	14日	
診療科名	乳腺・内分泌外科				実施回数	4/回	
登録医師名	三好 和也						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	レスタミンコーワ錠 10mg	5	錠	経口			●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	パクリタキセル投与開始30分前までに内服
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液 デキサート注射液 6.6mg ファモチジン静注 20mg	100 3 1	mL 瓶 管	点滴静注	側管	15min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	レスタミンと同時投与（レスタミン内服不可患者には医師に確認）
4	グラニセトロン点滴静注液3mgバック	1	袋	点滴静注	側管	30min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	生理食塩液 パクリタキセル注	500 175	mL mg/m ²	点滴静注	側管	180min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	フィルター付き点滴セット使用
6																	

備考欄

※(臨) Dose-dense EC療法 4J-3施行後より開始すること。
 ※PTX療法施行後、day2～day4以内に7-57皮下注3.6mg 皮下投与
 ※投与量計算は登録時の体表面積に基づき決定する。投与期間中に10%以上の体重増減が認められた場合は再計算を行う。

文献

SBP-09 早期乳癌患者におけるDose-Dense ACまたはEC→パクリタキセルの有効性、安全性を検討する第Ⅱ相試験

減量基準

※EPI、CPA、PTX減量基準
 1) Grade3以上の発熱性好中球減少症 2) Grade4白血球減少(<1,000/mm³)
 3) Grade3以上の血小板減少症(50,000/mm³以下) 4) Grade3以上の貧血(Hb 6.0-8.5g/dL)
 5) 他 Grade3以上の非血液毒性 (JCOG版 CTCAE-ver4.0に基づく)

※EP I : (ⅡⅠⅠ0) 90mg/m² → (ⅡⅠⅠ1) 80mg/m² → (ⅡⅠⅠ2) 70mg/m²
 ※CPA : (ⅡⅠⅠ0) 600mg/m² → (ⅡⅠⅠ1) 600mg/m² → (ⅡⅠⅠ2) 600mg/m²
 ※PTX : (ⅡⅠⅠ0) 175mg/m² → (ⅡⅠⅠ1) 160mg/m² → (ⅡⅠⅠ2) 145mg/m²